

大型バス向け自転車積載装置の開発



サイクルツーリズム振興のため、サイクリストと自転車の輸送問題を解決する手段として、大型バスのトランクルームにスポーツ自転車を簡易に積載するための装置の開発に取り組んでいます。

(株式会社ドーコン、株式会社土谷製作所、北海道バス株式会社による共同研究)

背景

- 世界水準を目指す北海道のサイクリング環境
- 道内各地域の特色・魅力あるサイクリングルート
- 北海道の地理的特徴＝都市間距離が長い
- サイクリング場所への自転車輸送の手間とコスト

気軽にサイクリング旅行がしにくい環境

北海道のサイクルツーリズム振興のためには、現在各地域で取り組まれているルートの環境整備と並行して、気軽にサイクリング旅行を楽しむため、サイクリストと自転車の輸送問題を解決することが必要不可欠です。

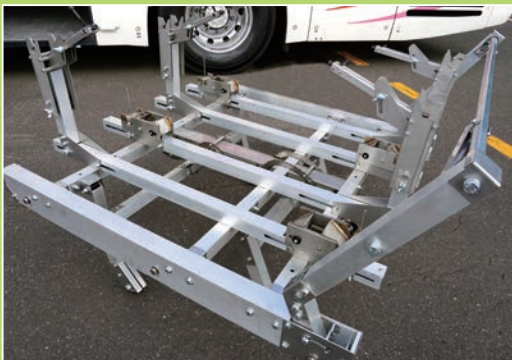
開発にあたっての技術的課題

技術的課題

専門の作業スタッフが不要
 バスドライバーにとって簡単なオペレーション
 トランクルームの改造など新たな投資を必要としない
 導入のしやすさ・高速路線バスへの応用性

対応策

利用者自身が自転車の装置への取り付けを行う
 トランク内へのスムーズな装置の積載・荷卸し
 積載装置の重さだけで安定する構造
 トランク容積に合わせた設計 (1/2スパンサイズ)



簡単な操作により バストラックルームに収納可能

自転車積載のオペレーション想定

■利用者自身による装置への取り付け・固定

前後輪を外し、エンド部分に専用バーを取り付け、
装置にワンタッチで取り付け



■バスドライバーが装置をトラック内に積載

〈装置の仕様〉

ロードバイク、クロスバイクのみ対応
積載装置1基につき自転車4台まで
ハイデッカー車(ジェイ・バス規格)で6基・
最大24台積載可能

※特許出願中(特願2018-171258)



サイクリング旅行をもつと気軽に!!

今後の展開

- 本取組に関する**情報発信**
- バス事業者、旅行事業者等へのインタビューを通じた**市場性把握**
- 本装置を用いた実証実験等の実施による**導入可能性検討**
- ご意見を踏まえさらなる**装置改良**
- 「サイクルバス」導入の**ビジネスモデルの検討・構築**



総合建設コンサルタント
Docon 株式会社ドーコン

<http://www.docon.jp>

本社 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4番1号
東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町4番9号 小伝馬町新日本橋ビルディング
東北支店 仙台市青葉区一番町4丁目1番25号 東二番丁スクエア
名古屋事務所 名古屋市中区錦3丁目1番30号 錦マルエムビル

問い合わせ先

都市・地域事業本部 総合計画部 (担当: 平出) TEL.011-801-1555 FAX.011-801-1556
交通事業本部 交通部 (担当: 宮坂) TEL.011-801-1520 FAX.011-801-1521
東日本事業本部 東京支店 (担当: 小美野) TEL.03-5644-0412 FAX.03-5644-0415
東日本事業本部 東北支店 (担当: 皆川) TEL.022-225-2860 FAX.022-264-9331

(2019.06)